



Imprimere Wind Symphonica
Go To Eleven

19th October 2019 @ Itami Aiphonic Hall

Flute / Oboe

佐藤 麻美
住友 妙子
中岡 佑貴
前田 美里



Clarinet

今尾 舞
大西 香澄
田中 重行
那須 希美
山邊 紘太郎
中村 夏乃子

Saxophone

大西 遼
櫻井 真人
日高 彰子



Trumpet / Trombone

浅葉 健汰
川口 智子
宮永 歩
小川 美沙紀
波岡 淳史
松田 裕貴



Horn

下川 巧
惣輪 瑞月
中野 匠
宮永 杏奈



Euphonium / Tuba

鳴瀧 紗那
仲村 史哉
丸尾 智志
三上 和輝
室屋 乃亜



Percussion / Piano

井筒 一将
上野 ななみ
加藤 友樹
波岡 悟史
三宅 勇魚
渡邊 萌木
成久 吉紀



Conductor

迎 諒



本日のプログラム

1. **Huntingdon Celebration / Philip Sparke**
2. スタジオジブリ・アニメメドレー / 久石 譲・木村 弓
3. マゼランの未知なる大陸への挑戦 / 樽屋 雅徳
4. イーストコーストの風景 / **Nigel Hess**
5. 雰囲気リクエスト
 - ・バラード系 : **Gentle Rain / Robert W. Smith**
 - ・定番系 : 鷺が舞うところ / **Steven Reineke**
 - ・おバカ系 : お酒ソングコレクション ～酔奏楽のための～ / 辻 峰拓
 - ・シェフの気まぐれ系 : アルヴァマー序曲 / **James Barnes**
6. ミュージカル「レ・ミゼラブル」より / **Claude-Michel Schonberg**
7. **Riverdance / Bill Whelan**
8. 星の船 / 西邑 由記子
9. たなばた / 酒井 格
10. **オリエント急行 / Philip Sparke**

アンコール

1. **Fandango / Herb Alpart**
2. **Starry Journey - Prelude / 福田 洋介**

Huntingdon Celebration

人気曲ランキング：第8位 演奏回：第5回「郷」

オープニングを飾るにふさわしいこの曲はイギリスのハンティンドン・コンサート・バンドの創立10周年を祝して作られた曲です。

10周年つながりで僕らの曲と言っても過言では...いや、言い過ぎですね。

とにもかくにもなんと運命的な曲がオープニングに選ばれました。

民謡風のメロディーが印象的なオープニング、インプリお得意のバラードからまたテーマに戻ってくる典型的な3部形式の序曲ですね。

スタジオジブリ・アニメメドレー

人気曲ランキング：第7位 演奏回：第4回「演」

子供から大人まで誰もが知る**Made In Japan**なアニメと言えばジブリ。

今回のメドレーには「となりのトトロ」「天空の城ラピュタ」「風の谷のナウシカ」「千と千尋の神隠し」「崖の上のポニョ」の5作品からそれぞれの代表曲をお送りします。曲の最後には、メドレーに入りきらなかった曲のモチーフを取り入れ宮崎駿監督の世界観を存分に味わっていただけるかと思います。

マゼランの未知なる大陸への挑戦

人気曲ランキング：第6位 演奏回：第2回「灯」

大航海時代の探検家、フェルディナンド・マゼラン。スペイン王の命で1519年に世界一周の旅に出たわけですがフィリピン沖、セブ島にて戦死します。この曲は、「もしマゼランが生きていてこの先も世界一周の旅を続けていたら…」という想像のもと作られた楽曲です。当時の航海ルートを考えてみるとマゼラン死後、残っているのはフィリピンから太平洋を東に進み、南アフリカ、そしてスペインへ戻るルート。曲とこのルートのイメージがどうも結びつかないんですが笑

細かいことは気にせず、「海を渡る大冒険」として聞いていただくと良いかと思います。

イーストコーストの風景より

人気曲ランキング：第5位 演奏回：第1回「刻」

イギリス、ジブリ、大航海と来て、続いてはアメリカ東海岸の風景を切り取った3楽章からなる楽曲です。

まずは、シェルター島。白い砂浜のビーチが印象的なこの島は夏は観光客で賑わっていますが今回は冬の大西洋の景色を取り上げます。

続いてキャッツキル山地。ニューヨーク北部の静かで平穏な中にも力強さや威厳を感じる山の風景を切り取りました。

最後にニューヨークの中心部、マンハッタンの喧騒と活気を取り上げます。最後に鳴るサイレンは、緊急車両をイメージしているようですね。

ミュージカル「レ・ミゼラブル」より

人気曲ランキング：第4位 演奏回：第4回「演」

フランス文学の巨匠ヴィクトル・ユゴーが自身の体験を基に、19世紀初頭のフランスの動乱期を舞台に描くフランス版大河小説、レ・ミゼラブル。

「無知と貧困」「愛と信念」「革命と正義」「誇りと尊厳」

とてもこのスペースでは語りつくせないほどの意味を持つ物語、そしてそれを盛り立てる音楽。

僕らの演奏を聴いて、少しでもまた映画借りてみようかなと思ってもらえたら幸いです。

Riverdance

人気曲ランキング：第3位 演奏回：第5回「郷」、第9回「緋」

こちらもミュージカルからのランクインです。アイルランド音楽がモチーフになっており、実に日本人が好きなリズムや音程感にマッチしていると思います。

日本でも度々ミュージカルが上演されたり、フィギュアスケートのフリープログラムで用されることも多いですね。

昨年に引き続き、ドイツの放送局**SWR**のビッグバンドが演奏するアレンジでお送りします。個人的には、トランペットソロがとても気持ちよく演奏が出来るのが推しポイントです。完全に奏者目線の意見ですが...

星の船

人気曲ランキング：第2位 演奏回：第7回「星」

実はこの曲は団員内ランキングでは全曲の中で第1位でした。個人的には「バラード」がインプリの真骨頂だと思っています。心のピュアな団員が多いからだと思っていますが、木管の心を震わせるあのメロディーラインが最高ですよ。オブリガートといい、途中途中の合いの手といい、どこを切り取っても「いい！」の一言に尽きます。天の川という大きな障壁があってもなお、愛し合う二人の実にロマンチックな恋心が見事に描かれた1曲です。プリラジで団長が語っていたお気に入りの曲は、これですね。

たなばた

人気曲ランキング：第1位 演奏回：第1回「刻」

7月7日、日本人が愛してやまない1日なんですね。堂々の第1位も星の船に引き続きの七夕がテーマのラブソングです。先ほどの「星の船」とは打って変わって、明るくポップな、しかし少しロマンチックな音運びなこの曲。きつと昼間から遊園地に行つて、そのまま水族館なんかにも行つたりして。帰りにカラオケでも寄つて帰るか！くらいのタフなデートを楽しんでいるような気がします。ドラマにするなら彦星は嵐の二宮くん、乙姫様は...夏帆あたりでどうでしょうか。マギーさんあたりがきつと間を取り持つ重要な役回りをやつてそう。ほんとに個人的なイメージですよ笑

オリエント急行

インプリメーレからのリクエスト 演奏回：初演

本編最後はインプリメーレからのリクエストです。**Go To Eleven**の名にふさわしい次に向かって進む活力そのものを現しているような気がして選曲しました。実は今回のライブの構想は3年前からすでに頭の中にありました。最後の曲はこれだとその当時から決めていたのを覚えています。よく人生を列車で例えることがあります、まさにそれに乗った形です。力強く、たくましく、それでいて雄大に、インプリがこの先もずっとずっとあてのない旅を続けていければいいなと思います。

Special Thanks

伊丹アイフォニックホール

神戸セミナーハウス

明石高専吹奏楽部

寝屋川市立市民会館

僕たちの音楽を愛するあなたたち